



## 進学・進級おめでとうございます

赤尾 眞司

今日は、令和元年度修了式でした。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策もあり、3月が臨時休業になりましたが、修了式を実施して、学級代表の子供たちに修了証と通知表を手渡すことが出来ました。今の学年を修了して、4月からは一つ上の学年、学校に進級・進学します。1年間よく頑張りました。

通知表には、子供たちの1年間の努力や成長の様子が、また、一層の成長のための課題も書かれています。親子でじっくりと読んでください。そして、子供たちの1年間の頑張りを子供たちから聞き、是非褒めてあげてください。そのことが子供たちの自信につながっていきます。

小学校生活の6年間を通して、子供たちは大きく成長します。身体面の成長はもちろんですが、考え方や友人関係など心の面での成長はもっと大きいものです。高学年になっていくほど自我意識に芽生え、反抗期を迎える子もいます。友達との関係づくりに悩む子も増えてきます。しかし、子供たちはそのような過程を通して、人とのかかわりや社会の中での自分の立ち位置を考えるようになってきます。1年間です子供たちは着実に成長してきました。

新聞に次のような中学生の声が掲載されていました。題名が「休校で気付いた学校に行く意味」

「学校に行けない寂しさはあるが何不自由なく生活している。(中略)わざわざ通学する意味は何だろう。今、学校の生活と大きく違うのは「嫌い」なものに触れなくなった点だ。学校に行けば苦手な人と顔を合わせ、嫌いな教科も学び、時に退屈な時間を過ごすこともある。でもその苦しみや雑味も含めた日々は、何事にも代えがたい味わいがある。好きなものばかりを選び取るのはよくないこと、学校では勉強だけでなく、人との関わりや課題を乗り越える力、生きていくために必要な力を学ぶものだ」と休校体験から気付いた」 3月20日朝日新聞「声」の欄から抜粋

改めて学校の意味を考えさせられた中学生の投稿でした。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様には、様々な面でご協力をいただきました。子供たちが安心して学校生活を送れるのも、ひとえに保護者・地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。石神井東小学校の教育活動を支えてくださったことに、改めて感謝申し上げます。

明日25日は、本校の第117回卒業式です。式では、卒業する6年生63名と、全校を代表して5年生65名が出席します。内容を短縮し、外部からのご来賓の出席はありませんが、子供たちは立派な姿を見せてくれると思います。

26日からは、春休みになります。春休みは、年度の変り目であり、1年のうちでもっとも期待感と緊張感を抱く時期です。同時に開放感や不安感に左右されやすい時期でもあります。また、自転車による交通事故が増える時期でもあります。今年度は新型コロナウイルス感染症に関する対応もあり、例年とは違った形で迎える春休みになりますが、児童一人一人が、希望と自信をもって新学期のスタートを切ることができるよう、また、事故のないようにご家庭でのご協力をお願い致します。

4月6日には、全員で令和2年度のスタートを切りたいものです。

○春季休業中の校庭の利用について (利用できるのは本校在籍児童に限ります)

3月26日から4月4日の月曜日から土曜日まで毎日実施します。(日曜日は利用できません)

時間 1・2・3年生 午前9時30分～11時30分

4・5・6年生 午後1時30分～3時30分

\*平日は学童クラブの職員の方が、土曜日は学校応援団の方が見守ってください。

○春季休業中の電話対応は、平日は16時45分～翌日8時15分まで、土曜日・日曜日は全日応答メッセージ対応になります。また、日曜日は学校が終日機械警備になり無人になります。校地内(校舎内、校庭)には一切入れませんので、ご注意ください。



6年生を送る会の様子